

## 令和4年度入学生に対するスクール・ポリシーについて

小林高等学校

### 【スクール・ミッション】

- 小林市唯一の普通科伝統校として、地域の教育財産を活用しながら、立志鍛練の志を胸に秘めた地域リーダーの育成を目指す学校
- 生徒、保護者及び地域から信頼される学校として、進路目標達成のために、学び続け、協働性を備え、向上心あふれる生徒の育成を目指す学校

### 【スクール・ポリシー】

<p>グラデュエーション・ ポリシー</p>	<p>(1)各教科・科目等において授業への出席状況や参加態度、課題の提出状況などがよい場合に履修を認める。履修が認められており、学習目標を十分に達成している場合に修得を認める。</p> <p>(2)年間を通しての出席状況がよく、定められた各学年の各教科・科目等の単位を修得し、「総合的な探究の時間」や特別活動の成果が目標に照らして十分な場合に進級を認める。</p> <p>(3)3年間において定められた各教科・科目等の単位を修得し、教育活動が十分な場合に卒業を認める。</p> <p>(4)各種学校行事やホームルーム活動、課外活動に真摯な取り組みが認められる場合に進級及び卒業を認める。</p> <p>(5)立志鍛練の校訓の下、3年間の教育活動を通して「探究心に富む人材」「架け橋となる人材」「何事にも優れた人材」を目指す取り組みが十分な場合、進級及び卒業を認める。</p>
<p>カリキュラム・ ポリシー</p>	<p>(1)基礎的・基本的な知識及び技能の習得も含め、学習内容を確実に身に付けられる学習活動、他者と協働することの重要性を実感できるような各教科・科目での多様な体験活動を設定する。</p> <p>(2)「総合的な探究の時間」の充実のために教科横断的な時間を設定する。また、学習の過程において主体的・対話的で深い学びの実現を図り、新たな価値を創造する力を養う場を設定する。</p> <p>(3)自立心や自律性を高め、地域リーダーとして貢献するための姿勢を育むために、市役所等の諸機関と連携した学び、ボランティア活動、生徒会活動や部活動などの豊かな経験ができる活動を設定する。</p> <p>(4)ICT機器などの環境を整え、これらを適切に活用する学習活動を設定する。また、学校図書館を計画的に利用した活動や芸術文化などの鑑賞を通じた見方・考え方を醸成する機会を設定する。</p> <p>(5)生徒の良い点などを積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるような評価をする。また、各教科・科目等の目標の実現に向けた学習状況を把握する観点から、単元や題材など内容のまとまりを見通した評価の場を設定する。</p>
<p>アドミッション・ ポリシー</p>	<p>本校では、基本的な生活習慣の確立を土台にし、基礎学力の定着と課題発見・解決型学習の充実を図ることによって、向上心にあふれ、協働性を備えた人材の育成を目指しています。次の姿勢をもつ生徒を待っています。</p> <p>(1)「学び続ける姿勢」～社会の変化に対応できる知識や技術を身につけようとする姿勢</p> <p>(2)「協働する姿勢」～他者の立場や考え方を認め、チームで仕事をしようとする姿勢</p> <p>(3)「挑戦する姿勢」～まずはやってみる、失敗を恐れず自分を高めようとする姿勢</p>